



神奈川の風



平成28年11月21日号

校長 吉江 明洋

＜ 心豊かになろう 君の理解者は必ずいる ＞

福島からの避難生徒への長年の嫌がらせやいじめで、不登校に追いやってしまった問題が報道されて心を痛めるばかりです。

先生方は、君達を信じていますが、ぜひ言っておきたい。そんな行為をうまく隠しているつもりでも「こういている人は見ているし、ひれっ知っている人は知っています」。たとえ誰も見ていなくても、そんな卑劣なことをしている自分自身を知っているはず。それで平気ならば、あまりにも悲しすぎます。



もし人の心の痛みを感じる心が育っていないなら、今からでも遅くない「そのねじ曲がった心を徹底的に鍛え直すべきです」。今後、幸せな人生を送るためにも、人として身につけなければいけない一番大切なことなのです。

また、人間関係や様々なことで悩んでいる生徒に言いたい。人間は、多様な考えや行動のしかたが違う多くの人々との社会生活の中で自分を表現していかなければなりません。年齢が進むほどその世界は広がり、人間関係は複雑ふくざつになっていきます。そして、小さい頃のように、自分にいいことばかりでなく、嫌なことやつらいことも多くなります。しかし、その困難こんなんを自分なりに乗り越えながら大きく成長していくのも、人間に与えられている力です。



中学生の年代は一生の中でも一番気持ちが不安定な時期でもあります。そんな時には、八方ふさがりになったようで、何もかもが嫌になって、どうしていいか分からなくなってしまいます。

しかし、そんな気持ちになりそうなきにはもう一度考えましょう。

君達は、誰もが家族の夢と愛を一杯に受けて誕生しました。そして「明るく健康で、誰よりも幸せになってほしい。愛される人となってほしい」と願いながら育てられた、かけがえのない娘であり息子であり、生徒なのです。

君の将来の夢は何ですか。そして、その夢を持った君を愛し、ずっと支ささえてくれる家族がいるはず。さらに、そんな君を理解してくれる先生や友達ともだちは必ずいるはず。

もし、苦しいほどに悲しくなったら、一人で考え込んで絶望する前に声に出すことです。話をすることです。家族でも先生でも友達でも誰でもいい。必ず君の話はなしを聞いてくれる人はいるはず。共に考えてくれる人が絶対にいるはず。人は誰でもそんな時期を乗り越えて成長してきています。もちろん君の家族も同じように乗り越えてきています。ですから君にもその力は絶対ぜったいに備わっているはず。もっともっと自分の力を信じて、これからの可能性に夢をふくらませよう。きっと勇気が湧いてくるはず。

私は一人でそんなつらい思いをしてしまう生徒を神奈川中からは絶対に出したくありません。弱い者、気に入らない者をいじめたり無視するなど絶対に許されることではありません。

心豊かに育っていれば、そんな卑劣な行為はできるはずがありません。全員でもう一度考えましょう。「全員を仲間と認める」「仲間と協力をする」「その仲間を大切にすること」とはどういうことなのかを。そしてそれを実行すること。行動することなのです。